

○ 労働金庫法施行規則等の一部を改正する命令（平成二十六年内閣府・厚生労働省令第十一号）

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

改正後	改正前
<p>附則</p> <p>（労働金庫法施行規則の一部改正に伴う経過措置）</p> <p>第二条 「項を削る。」</p> <p>「項を削る。」</p>	<p>附則</p> <p>（労働金庫法施行規則の一部改正に伴う経過措置）</p> <p>第二条 「1」この命令による改正後の労働金庫法施行規則（以下この条において「新規則」という。）第九十六条第一項の規定は、同項第一号に掲げるものについては、当分の間、適用しない。</p> <p>2 新規則第九十六条第二項及び第四項の規定は、労働金庫又は労働金庫連合会（以下この項において「金庫」と総称する。）の清算機関（金庫（当該金庫以外の金庫を含む。）に一定の情報を提供している者であつて、金融商品取引法（昭和二十三年法律第二十五号）第二条第二十九項に規定する金融商品取引清算機関、商品先物取引法（昭和二十五年法律第二百三十九号）第二条第十八項に規定する商品取引清算機関又はこれらに準ずる外国の機関（当該機関が設立された国において適切な規制及び監督の枠組みが構築されており、かつ、当該規制及び監督を受けている者に限る。以下同じ。））に対する信用の供与等（労働金庫法第九十四条第一項において準用す</p>

〔1〕 第一条の規定による改正後の労働金庫法施行規則第九十六条第四項の規定は、株式会社商工組合中央金庫法及び中小企業信用保険法の一部を改正する法律（平成二十七年法律第二十九号）附則第四条第一項の規定に基づき同項に規定する検討が行われ、必要があること認められる場合には同項に規定する所要の措置が講ぜられることとなることを踏まえ、当分の間、株式会社商工組合中央金庫法（平成十九年法律第七十四号）第三十三条の規定による商工債（同法附則第三十七条の規定により同法第三十三条の規定により発行された商工債とみなされたものを含む。）については、適用しない。

3〕 新規則第九十六条第四項の規定は、中小企業者及び中堅事業者等に対する資金供給の円滑化を図るための株式会社商工組合中央金庫法等の一部を改正する法律（平成二十一年法律第五十四号）附則第三条第一項の規定に基づき同項に規定する検討が行われ、必要があること認められる場合には同項に規定する必要な措置が講ぜられることとなることを踏まえ、当分の間、商工債（株式会社商工組合中央金庫法（平成十九年法律第七十四号）附則第三十七条の規定により同法第三十三条の規定により発行された商工債とみなされたものを含む。）については、適用しない。

備考 表中の「」の記載は注記である。